

探鳥時鐘

なきごえ



1980

7

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

ギフチョウによせて

奥村 東久子



春告げる蝶は
花を舞いつつ 谷間を飛ぶ
このうらわしき蝶 ギフチョウ
谷間の紅葉もえはじめる頃
木洩れ日めぐり カンアオイに詫す
この小さき命 想ふ
みどりの真球を残して 去る日を

ギフチョウ 400頭近くが、全部蛹となりました。食草を雨の日に採りに行ったり、うっかりしていると飼育函に雨が入ったり、野外で産卵した分にエサが足りないのではないかと夜中に見に行くなど、自分のエサを忘れての飼育でしたが……

今年のかねて行きたかった砂漠の蝶に会いに……そんな願いでエジプトの旅に出かけましたが、蝶に会うこともできず、そのかわり紀元前4000年とか気の遠くなるような時代に、もう立派な蜂が居たことを知り……ルクソールの村の婦人達が頭に水がめをのせてナイル河まで水汲みに行くのをながめたり、

なきごえ7月号もくじ

動物と私	2
“ブラックバックの赤ちゃんお目見え”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
野生チンパンジーの食生活(下)	6・7
キーウイ来園10年を迎えて	8・9
獣医室から ㊹	10
動物園ニュース	11

王家の谷の砂漠をラクダやロバにたすけられての暮しなど、ナイル河に沿って生きるエジプトの人々の生き方をまるで現実かなどと考えつつ、カイロ美術館、ルクソール美術館など見学を致しました。スカラベの本当のものなど、又物語りなど私はいろいろと学ぶことができました。

ギフチョウにみせられて早や30年近くを迎えようとしている今、自然とは悠久なものだと考えさせられ……蝶が花の番地をさがして飛ぶ姿に、少しずつ蝶の心が分りかけたような……そんな想いが致します。野鳥の声にかこまれ、かじかが溪流になき、ホタル飛ぶ谷間に暮して、公園を守ってくださる大きな協力のおかげで日々を暮しております。この新春、吉田平七郎先生より庚申猿の60年に1度しかない話など伺いましたのも、この間のようなのですが早や1年も半ばを過ぎようとしています。

インセクトリウムの中に次から次へ羽化をし、自然の中へ飛んで行く姿を見て、育てる苦勞など時として忘れながら今、ホタルの飛び交う夜、夏への衣替えを教えてください。消えることのない希望の灯をにかけて野に山に生き続ける蝶と虫……日本の自然と山と野に限りない感謝を捧げて虫塚を作り、それは日本を離れて旅をする時痛切に心をうつのです。

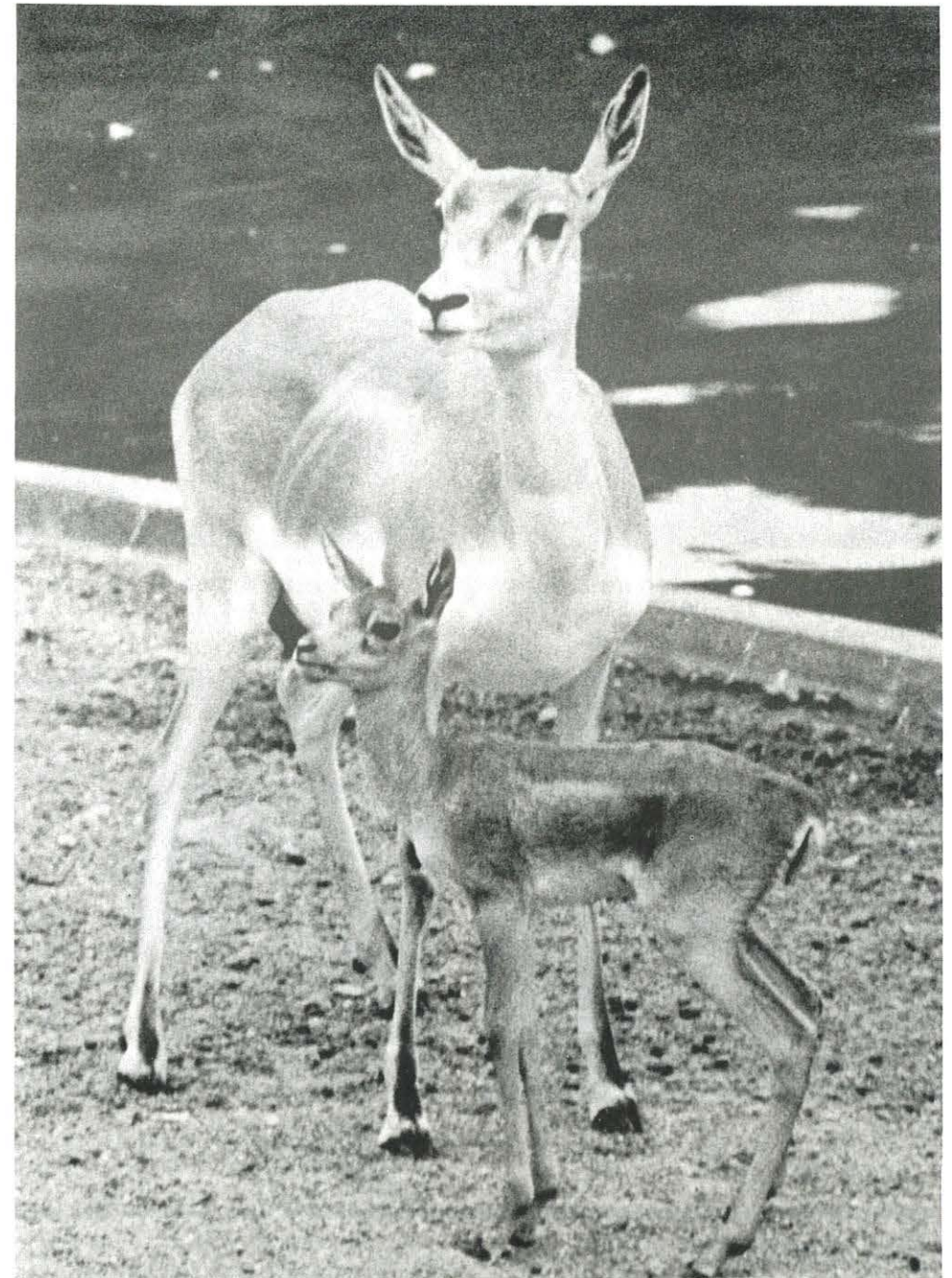
ギフチョウと虫によせて

山河草木
焼野ヶ原より不死鳥の如く
生きのびた蝶 あの大战の中 嵐の中
舞え 飛べ 私は声援を送る虫と蝶

(生き物趣味の会々員・日本鱗翅学会々員)

表紙の写真説明

“キーウイ”
昭和45年、万博を記念してニュージーランド政府から贈られたキーウイのニュージー君、この7月2日が入園満10年を迎えました。
(6月29日夜10時撮影：宮下 実)



“ブラックバックの赤ちゃんお目見え”

僕は6月14日生れの男の子です。これで家族は6人になりました。

元気いっぱい運動場をお兄さん、お姉さん達と走りまわっています。

(撮影：中川 哲男)

動物園グラフ

“万博10周年”万博記念動物特集



インドゾウ
インド政府からメスの子象が贈られました。名前も万博を記念して“ラニー博子”と付けられ人気を集めました。



インドゾウ
日本に来た当時の体重 560キログラム、現在では2240キログラムまでにもなり、先輩の姉さん象と仲良く遊んでいます。



アビシアンライオン
エチオピア政府から生後6ヶ月になるオス1、メス1の2頭が贈られました。



アビシアンライオン
現在までに9回の出産例があり、オスのフジオは死亡しましたが、その息子のフジオIIが立派に成長しています。

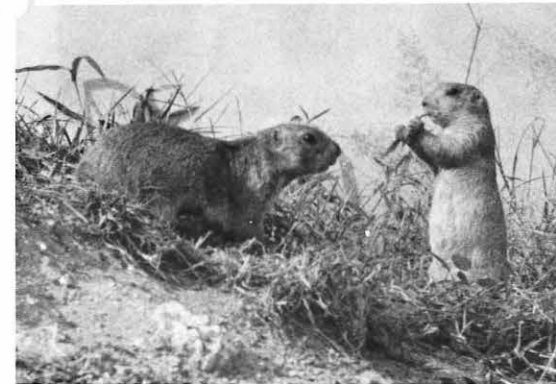
1970年（昭和45年）に大阪で開催された万国博覧会を記念して、各国から親善使節として、8種26点の動物たちが贈られました。今回は万博10周年の年にあたり、その後の万博記念動物を特集してみました。



キーウイ
ニュージーランド政府から贈られた珍鳥、現在メスに先立たれ、9年間もやもめを通してニュージー君に早く新しいお相手が来て欲しいものです。



ハイロカンガルー
オーストラリア政府から、オス2、メス3、計5頭が贈られました。最高7頭まで増えましたが、他園にトレードをしたりしたため現在は2頭です。



ブレイリードッグ
アメリカから10頭が贈られました。放飼場に展示し人気を集めましたが、残念ながら現在は1頭になってしまいました。



パラワンヤマアラシ
パラワンリスは天寿をまっとうしましたがパラワンヤマアラシは、現在も元気で過ごしています。

5・6月の動物園日記

- 5 / 22 ジャングルキャットの雄が鼻汁を出しているので治療を始めました。
- 23. ベイサオリックスのオスが敗血症のため死亡しました。
- 24. ビューマの仔が1頭生まれました。
- 25. 1羽目のタンチョウの雛が孵化しました。堺北警察からミズオオトカゲの保護預りがありました。
- 26. インドガンが1番入園しました。
- 27. ニホンジカの仔が1頭生まれました。

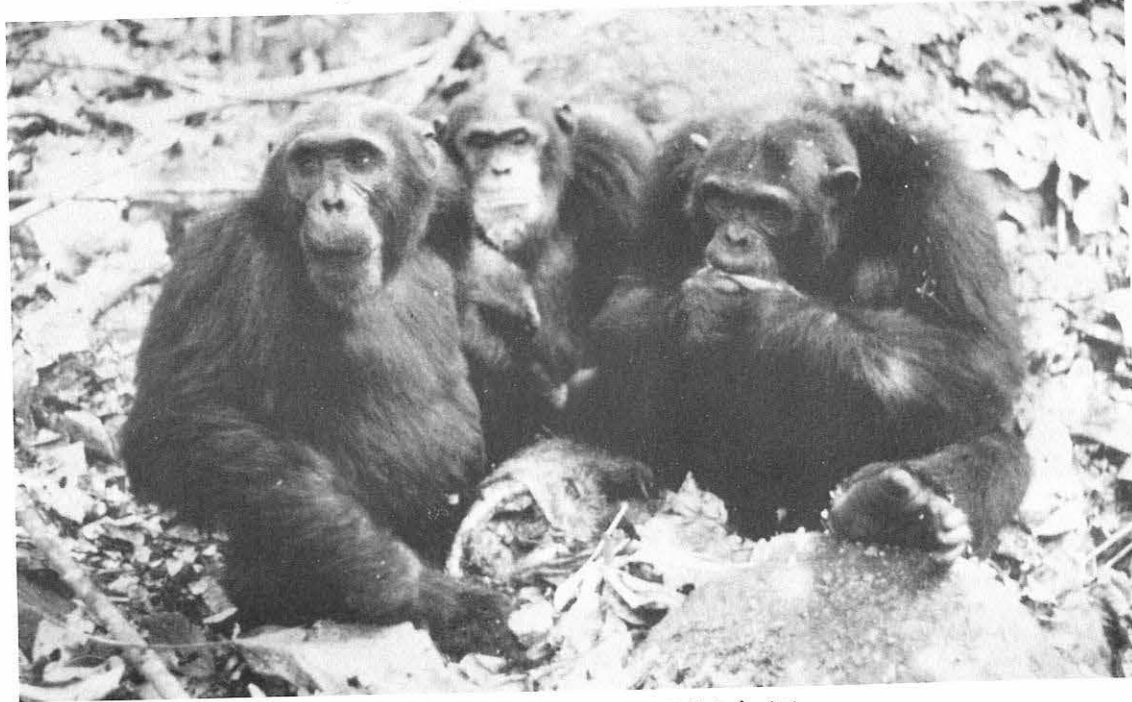
- オーストラリアヒクイドリが産卵しましたが、残念なことに破卵しました。
- 28. 2羽目のタンチョウの雛が孵化しました。レアが今年初めて産卵しました。
- 30. イエローアナコンダが口腔内膿瘍のため死亡しました。
- 31. 暑さも厳しくなってきたのでキングペンギンなど5種のペンギンを冷房室へ移しました。
- 6 / 1. ボランティアの定例会が行われました。トカラヤギが3頭出産しましたが1頭は死産でした。

- ポリビアリスザルが1頭生まれました。
- 6 / 3. 恒例のメンヨウの毛刈りが行われました。本年初のアシカの仔が生まれました。フサオマキザルが1頭生まれました。
- 5. ブラックバックの老雌が左の頬に膿瘍を作ったので投薬しました。ゾウのヒロ子が少し元気をなくしていたので薬を与えました。
- 6. ブラックバックの雄が疥癬症になったので薬浴させました。
- 7. マクジャクの雌がコクシジウム症のため死亡しました。

- 骨折断脚したシュバシコウに義足をつけました。
- 8. 治療中のジャングルキャットの状態があまりよくないので入院させました。
- 9. 2頭目のアシカの仔が生まれました。入院中のジャングルキャットの仔が3頭生まれました。
- 14. ブラックバックが1頭出産しました。
- 15. 治療を続けていたイエローアナコンダが死亡しました。
- 20. 本年2頭目のニホンザルの仔が生まれました。

野生チンパンジーの食生活 (下)

乗越 皓司



オトナのオスたちがイノシシの子供を食べている。大きい餌物がとれると、もっている個体は他に分配してやることもある。

§ 糞の分析

毎日見つけた糞を全部集めると1ヵ月に100個以上にもなる。その内容を分析することは、チンパンジーの観察を終えた夕方の重大な、しかもしんどい仕事となる。大きな種子が入っている糞はすぐその数を調べることができるが、小さい種子を食べる時期の糞は、100g くらいの小さいものでも1,000から2,000個も種子があり、数えるのにうんざりする。

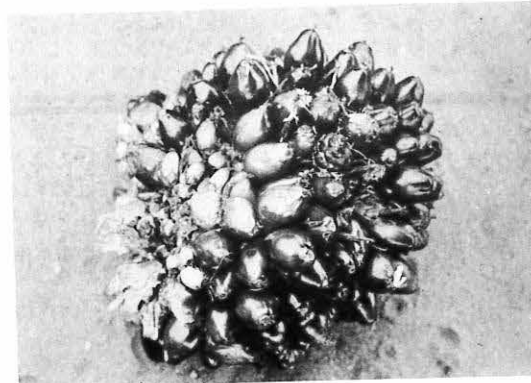
チンパンジーが何を食べているかは、もちろん直接観察することによっても調べているのだが、糞の分析と両方できたりわしいことがわかってくる。

§ チンパンジーの食べる植物

チンパンジーは、1年を通じてみると、100種以上の野生の植物を食べているが、しかし集中してよく食べるのは10種ほどである。これらの重要な植物は、多数生えており、毎年多くの実をつける。そのうえ、我々人間が食べてもかなりおいしいものがある。これらの重要な果実が実ると、それが生えている地域

だけを遊動しながら、2ヵ月もあるいはそれ以上もかかって、それが全部なくなるまで食べ続ける。そして次の季節には、また別の果実の実る所に移動してゆく。

年によっては実り方にちがいががあるので、ある年に利用していた地域でも次の年に実らなければチンパンジーは全く来なくなる。私の行った年に、日本



この油ヤシの実をマハレのチンパンジーは決して食べない。しかし、西アフリカでは、石を使ってかたい種子を割り、中の実を食べる。

のアカビによく似たおいしい実がなり、それをよく利用していたが、この様なことはここ10年来全くなかったという。

§ 道具を使うチンパンジー

チンパンジーは植物が主食であるが、昆虫や小動物もよろこんで食べる。昆虫では、枯木の中に巣をしている黒いアリや地中にいる白アリが中心である。これらの巣の中にあるア리를チンパンジーはどのような方法で取って食べるのだろうか。巣を作っている木が小さいと、歯でかみ割って中のア리를食べる。しかし、地中に住んでいる白アリや大きな木の穴に巣



バナナ畑の中にある研究所。以前の泥壁の家にくらべるとずっと近代的になったが、日中トタン屋根があつて中で仕事はできない。

をしているアリに対しては、そうはゆかない。その為には彼らは、特別の道具を作って使うのだ。木の枝や皮をしなやかな、細くて長い棒に作り、それをアリの巣穴の小さい入口にさし入れる。すると中にあるアリは、そのじゃまな侵入者(棒)にかみつくので、棒をゆっくりと引き上げると、かみついたままのアリがとれるというわけである。チンパンジーはこのアリ釣りを非常な熱心さでもってやる。長い時には1時間以上も続くことが記録されている。

道具を作って使用するのは、野生動物ではチンパンジーだけである。今まで、人間だけが道具を作って生活していると考えられていたが、人間に最も近い動物のチンパンジーも出来ることがわかり、注目される現象となった。

§ チンパンジーの肉食

チンパンジーは、時々サル仲間や小さいレイウ、イノシシなどを狩って、その肉を食べる。動物が殺されると、近くにいるチンパンジーたちは皆集っておおさわぎをする。彼らは肉が大好きで、まるでお祭さわぎみたいになる。肉を持っている個体にせがんだり、奪いとろうとしたり、彼もまた肉の薄片を分け与えてやる。この物を分配する行動は、ニホンザルなどでは親子の間でさえ見られないことを考えると、おどろくべきことである。

チンパンジーの肉食は、人間を除くと、霊長類の中では非常にめずらしい。ゴリラやオランウータン



ザイルからのしめった空気がマハレ山脈にあたって、豊かな雨をもたらす。そして、東アフリカにはめずらしい熱帯森林を育て、チンパンジーにめぐみを与えてくれる。

などの類人猿またニホンザルなどのサル類にも決して見られない。はるか数百万年の昔、サルから進化してきた我々人類の祖先は、野生動物を狩って生活していたと考えられている。そして、石器などの道具を使って、きびしい自然の環境にたちむかっていたのだ。人類のすでに失われた古い姿をさぐるため、チンパンジーの研究はこれからもさらに続けられてゆくだろう。(おわり)

(上智大学生命科学研究所・自然人類学教室助手)

キーウィ来園10周年を迎えて

キーウィが来園して、この7月2日で満10年を迎えました。そこで来園当時を振りかえって、苦労話などを聞かせていただくことにしました。

*来園のいきさつについて ————— 和田辰巳 元園長

*座談会 出席者 中川道朗 前園長 樽本勲 飼育係長
磯田啓子 係員 司会 柳原安昭 獣医師

*来園のいきさつ (和田辰巳：元園長)

キーウィは10年前に大阪で開かれた万国博を記念してニュージーランド政府から贈られました。当時飼育が非常に困難であるとのことで、あやぶむ声もありましたが、貴重な動物であるということで、も

対 談

司会：本年7月2日で来園10年を迎えるわけですがこの10年をふり返って、お話をしていただきたいと思います。まず、来園当時の思い出をお聞かせ下さい。

中川：7月2日に動物園にやって来た時の第一印象は、その輸送箱がまるで宝石箱のように立派で、ニュージーランドの人たちのキーウィに対する深い愛情がうかがわれました。

磯田：伊丹空港に到着するというので、キーウィ舎で待機していたのですが、直前になって舎内のクーラーが故障し、こんな状態でキーウィが来たらどうしようと思っていたところ、ようやく故障がなおってほっとしたことを思い出します。

中川：来園前の話ですが、受入れ準備がたいへんでした。旧は虫類舎を改造したわけですが、問題は温度と湿度と環境、つまり植樹と夜行性なので室内を暗くすることでした。しかし、こんなに暗くしてよいものか心配でした。又、展示するために夜と昼を逆転しなければならないのですが、どんな設備をすればよいか、それがキーウィに悪影響を与えないか心配でした。

司会：準備期間はどれくらいありましたか。

磯田：あまり長くはなかったと思いますが、いろいろな資料を集めていただいて読ませていただきました。当時はニュージーランド本国でも、あまり研究が進んでいなかったようでした。

中川：そうですね。夜行性であるため、その生態もあまりわかっていなかったようです。環境作りに苦労したわけですが、後にワシントンの動物園を訪れた際にキーウィ舎を見たわけですが、ほんとうに

らうことにしました。贈呈式にはニュージーランドのホリオーク首相が来園され、中馬市長に引渡されました。その後、ペットネームは公募して雄がニュージー君、雌がランドちゃんに決まりました。しかし、残念なことに雌は3ヵ月ほどで死亡してしまいました。

まっ暗な所で飼育していました。舎内には巣箱が1つあるだけで、あとは土ばかりでした。そんな場所です繁殖したので、現在の天王寺の環境は充分だと思っています。

司会：来園当時、餌で苦労されたとのことですが？

磯田：レーズンやグリーンピースなど、いろいろものをやりましたが全く食べませんでした。貴重な鳥なので主食であるミミズを全くなしにすることはできませんでした。

中川：当時の記録を調べてみると、来園時の雄の体重は780gでした。原地での捕獲時(1969年7月8日)の体重が1,545g、1年後オークランド動物園では2,180gであったとのことでした。つまり大阪へ来る14日間の間に1,400gも体重が減少したことになります。到着した翌年1月10日には2,100gにもどっていました。つまり餌を含め技術的に間違いはなかったと思います。その点で飼育係の苦労がうかがえます。

磯田：それは代用食にせずミミズを主食としたことがよかったと思います。努力してミミズを養殖させたのがよかったと思います。

樽本：ミミズを養殖していたので、その採集にたいへん時間がかかりましたね。

中川：300~400匹採るのに2~3時間を要しましたね。

磯田：ミミズはストックができないので、たいへんでした。

中川：新聞などでキャンペーンをやって、多くの方々から手紙などで送ってもらったり、車で取りに

行ったりしたものでした。採集に時間がかかるので電気によるミミズ採集機を考案したりしました。

樽本：キーウィ舎横とライオン舎の裏で、ナイロンを下に敷き、堆肥と土を入れましたね。アメリカのゲルトマイヤーさんが、何度も来日され養殖法を教えていただきました。

司会：現在はミミズを購入していますが、いつ頃まで養殖をしていたのですか。

樽本：昭和50年ぐらいでしょうか。丁度、釣りがブームとなって養殖が盛んになったためですね。

中川：ミミズの養殖のブームを作ったのも天王寺のキーウィではないでしょうか。

磯田：ミミズの養殖もたいへんでしたが、暗い室内に入れる観葉植物の選択もたいへんでした。

中川：結局バランスがよかったんですね。ワシントンの動物園の場合、天王寺のように多くの植物は植えていませんでした。

樽本：植物を植えることは、風景的にもよし、酸素の補給のためにも必要でしょうね。

磯田：やっぱり必要ですね。また、バランの葉は嘴でさいて巣材としても利用しています。

司会：夜間はどんな行動をするのですか。

樽本：何度か行動調査をしました。一晩のうち数回は巣穴へもどって休むようです。

磯田：3ヵ所ほど休む場所が決っています。

樽本：夜が白みかけてくると、もう巣穴へもどって眠りにつくようです。

磯田：キーウィは視力が弱いといわれていますが小さな電球の明りでもわかるようです。電球がついていると決して鳴きません。

中川：磯田さんが中へ入っていても巣穴へ逃げ込まなくなったのはいつ頃からですか。

磯田：8年目です。初めは巣穴から出ていてもすぐに逃げ込みましたが、そのうちにおもむろに巣穴へ入るようになり、その状態が長く続きました。その後、やっとそばまで来るようになりました。

司会：磯田さんが歌を歌うと、それにあわせて鳴くようになったのはいつ頃からですか。

磯田：去年の12月23日からです。

司会：キーウィはどんな歌が好きですか。

磯田：“やしの実”“あかとんぼ”などスローテンポの歌が好きようです。音や光に非常に敏感で、ちょっとした刺激で鳴かなくなったりします。

中川：喜びの表情などはありますか。

磯田：気に入った歌でしたら、合いの手を入れます。歌のテンポに合わせてキーキーと鳴きます。気に入らなると、岩穴の中へ入って嘴をガチャガチャ鳴らしています。

中川：キーウィの声は2kmぐらいまで聞こえるといいますがどうですか。

磯田：最近声が大きくなってきたように思います。今では50mぐらい離れた所でもよく聞えます。コンクリートの壁を通しての声ですので、かなり大きな声だと思っています。



司会：いろいろなお話が出ましたが、展示を含めて将来どのように考えておられますか。

磯田：たとえ完全な夜行性動物館ができたとしても、今のニュージー君を展示するのはかわいそうな気がします。展示を続けていたなら観客によるストレスから10年も生きていなかったのではないかと思います。

中川：たとえ完全な装置ができたとしても、今までの話で解るように非常に神経質な動物なので、お客さんによる刺激はマイナスにはなってもプラスになることはないと思いま

すので、入園者の方々には申し訳ないですが今のままにしておいてやりたいと思いますね。また、動物舎の方ですが室内は今のままで充分だと思いましたが、できれば屋外の運動場を作ってやりたいですね。そしてそこへ雌のキーウィを迎えることができればいいのですがね。

磯田：ほんとうにこんなに興味深い動物を担当することができて、非常にうれしく思っています。

中川：最後に、ミミズの養殖法をお教えいただいたゲルトマイヤー氏や一般市民の方々、ニュージーランド大使館の方々などお世話になった方々に感謝したいと思います。このキーウィが、日本・ニュージーランド両国の親善におおいに役立ったことと思います。

司会：ニュージー君が、これからも元気に長生きをすることを願ってこの対談を終りたいと思います。

キ
* 来
キ
して
飼育
あり
司
がこ
と思
さい
中
来た
まる
一ジ
対す
磯
ので
す一
が来
ころ
とし
中
準備
です
行性
んな
るた
どん
響を
司
磯
いろ
した
究が
中
もあ
苦勞
れた

獣医室から ②⑥

動物園におけるレントゲンの利用

人間の場合、定期検診などで年1回はレントゲンの胸部撮影を受けたり、その他、胸腔、腹腔内臓器の腫瘍や癌、あるいは骨折、炎症、異物など、いろいろの診断にレントゲンは重要な役割をしています。レントゲン線が発見されたのは1895年のことで、翌1896年には馬の骨折の診断にレントゲンが初めて用いられた記録もあり、以来、動物の病気解明にもレントゲンは大きな役割を果たしてきました。

動物園でも年間50件ほどのレントゲン撮影を行います。約9割は骨折の診断のための撮影です。他には腫瘍物の撮影、胸腹部の異状検査、異物の有無の検査、骨格の状態の観察などがあります。今回はそれらのレントゲンの利用の一部を御紹介してみましよう。

◎昭和54年4月、傷ついたハシボンガラスが保護されてきました。触診しても骨折は明らかでしたが、レントゲン撮影を行ったところ、写真①のように右下腿骨下部の複雑骨折(矢印部)と診断できました。骨折後、数日を経過しており治癒の見とおしは暗かったのですが、約1ヵ月間の副木固定でみごと完治しました。



①

◎昭和53年9月に4ヵ月目のスプリングボックが骨折しました。写真②でみられるように右中足骨の単純骨折でした。最初はギプス固定だけで治ると思われていたのですが、ギプス固定だけでは固定が不十分で接合不良のため、12日目に再手術を行い、骨髓の中にステンレスのピンを入れました。(写真③:ピンを挿入途中)2ヵ月後には骨折部には仮骨形成が進み(写真④矢印部)さらに1ヵ月後には完治して放飼場で走れるようになりました。



②

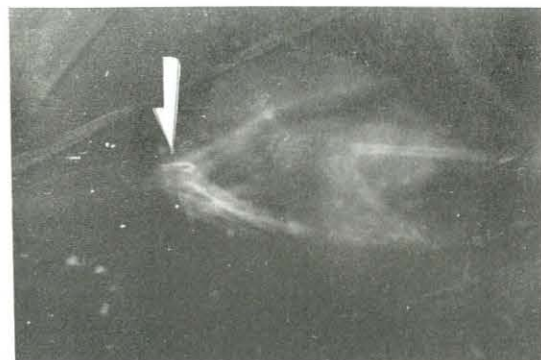


③



④

以上2例はうまく治った例ですが、時には完治しない場合もあります。いずれにしてもレントゲンに



⑤

よる診断は骨折の状態、治療の経過を把握する意味で欠くべからざるものです。

◎昭和53年5月、ムクドリが保護されてきました。足にはテグスがからみつき、一端が口の中に入りこんでおり、引っぱっても抜けないため、レントゲン撮影を試みました。案の定、食道に釣針が引っかかっているのがはっきり認められました。(写真⑤矢印部)麻酔し、食道切開をして釣針を無事摘出することができました。数日後、元気になったこのムクドリを元の自然に帰してやることができました。

レントゲン写真を解説するのは豊富な専門知識や長年の熟練した眼が必要で、複雑な疾病になるとなかなか診断をくだすことはむずかしくなります。しかし、動物の病気を解明する一つの手がかりとなるだけに、解説のための確かな眼を養っていきたいと思います。

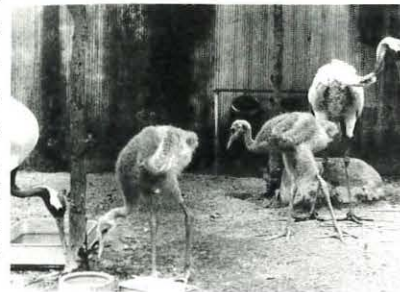
(飼育課:宮下 実)

動物園ニュース

§ 出産、出産、出産……

5月から6月にかけ殆んど毎日出産とフ化の連続で係員一同うれしい非鳴をあげっぱなしです。

5月25日と28日、タンチョウがフ化し、これでタンチョウのフ化は5年連続となりました。これは大いに自慢できることです。タンチョウ一家は現在総勢11羽です。この数は動物園としては日本最高です。



5月28日には3年連続でレアが産卵しました。以後産卵は続き6月17日までに7ヶ産卵しています。昨年は8卵産卵でヒナが1羽成育していますが、今年も検卵の結果、有精卵が見られていますから、この号が出る頃には可愛いヒナがフ化しているかも知れません。



6月1日、ポリビアリスザルが出産!

同じ3日、フサオマキザルにも赤ちゃんが生まれました。一昨年に続き、フサオマキザル夫婦にとって4頭目の赤ん坊です。赤ん坊はとても元気ですが、お母さんの背中にしっかりしがみついている為、性別はまだ不明です。

6月4日、レアに続きヒクイドリも産卵し、早速フ卵器に入れました。ヒクイドリの産卵は当園では初めてのことで、フ化予定日の8月初旬が大変楽しみです。

6月12日にはジャングルキャットが生まれました。今回は3頭の出産でした。

14日にはブラックバックにオスの赤ん坊が生まれました。カモシカ園内で生まれたこの子は同居のベイスオリックスやハナジカ達に歓迎されすぎて、隔離したりしたのですが、翌日からは皆と一緒に元気に走り廻っていました。

6月20日、ニホンザルにメスの仔が生まれました。これは5月14日のオスの仔



くらしを彩るショッピング

近鉄百貨店

アベノ店 (06)624-1111・上本町店 (06)779-1231
東京近鉄 (0422)21-3331

・近鉄百貨店グループ
大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

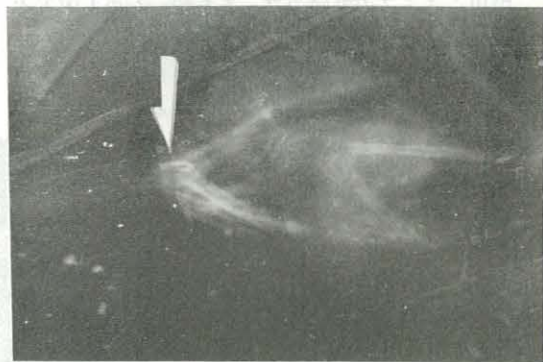
獣医室から ②6

動物園におけるレントゲンの利用

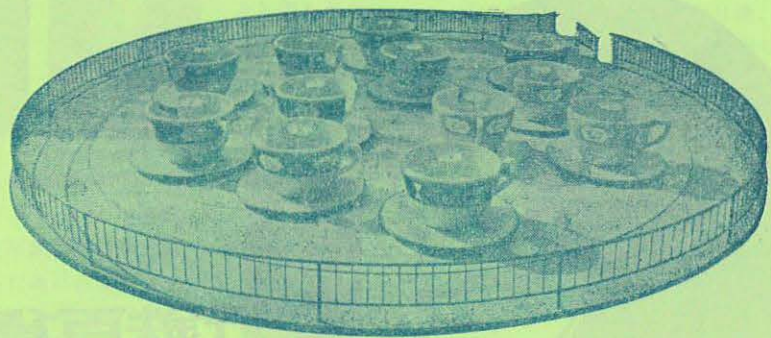
人間の場合、定期検診などで年1回はレントゲンの胸部撮影を受けたり、その他、胸腔、腹腔内臓器の腫瘍や癌、あるいは骨折、炎症、異物など、いろいろの診断にレントゲンは重要な役割をしています。レントゲン線が発見されたのは1895年のことで、翌1896年には馬の骨折の診断にレントゲンが初めて用いられた記録もあり、以来、動物の病気解明にもレントゲンは大きな役割を果たしてきました。

動物園でも年間50件ほどのレントゲン撮影を行います。約9割は骨折の診断のための撮影です。他には腫瘍物の撮影、胸腹部の異状検査、異物の有無の検査、骨格の状態の観察などがあります。今回はそれらのレントゲンの利用の一部を御紹介してみましよう。

◎昭和54年4月、傷ついたハシボンガラスが保護されてきました。触診しても骨折は明らかでしたが、レントゲン撮影を行ったところ、写真①のように右下腿骨下部の複雑骨折(矢印部)と診断できました。骨折後、数日を経過しており治癒の見とおしは暗かったのですが、約1ヵ月間の副木固定でみご



遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娛樂 株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

動物園ニュース

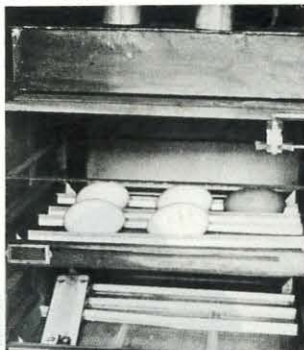
§ 出産、出産、出産……

5月から6月にかけて殆んど毎日出産とフ化の連続で係員一同うれしい非鳴をあげっぱなしです。

5月25日と28日、タンチョウがフ化し、これでタンチョウのフ化は5年連続となりました。これは大いに自慢できることです。タンチョウ一家は現在総勢11羽です。この数は動物園としては日本最高です。



5月28日には3年連続でレアが産卵しました。以後産卵は続き6月17日までに7ヶ産卵しています。昨年は8卵産卵でヒナが1羽育成していますが、今年も検卵の結果、有精卵が見られていますから、この号が出る頃には可愛いヒナがフ化しているかも知れません。



6月1日、ポリビアリスザルが出産しました。母親のオダイは51年9月のミグ、53年8月のトモに続き3度目の出産です。ベテランママですから育児の方は安心です。

同じ1日、トカラヤギも出産しました。お母さんのフーチャンは大変大きなおなかで、いつ生れるかと心配していたものです。普通トカラヤギは1産2仔ですが、大きなおなかの中には3頭の子供がいました。そして大変残念なことに1頭は死産で1頭は2日後死亡、残り1頭のオスだけが元気に暮しています。

6月3日にはカリフォルニアアシカが出産しました。そして9日、22日にも生まれ、アシカ家族は合計10頭となり、これは日本の動物園では3番目です。3頭のチビチャンはとても元気で、お母さんからタップリオッパイをもらい、飲んで眠りの毎日です。



同じ3日、フサオマキザルにも赤ちゃんが生まれました。一昨年に続き、フサオマキザル夫婦にとって4頭目の赤ん坊です。赤ん坊はとても元気ですが、お母さんの背中にしっかりしがみついている為、性別はまだ不明です。

6月4日、レアに続きヒクイドリも産卵し、早速フ卵器に入れました。ヒクイドリの産卵は当園では初めてのことで、フ化予定日の8月初旬が大変楽しみです。

6月12日にはジャングルキャットが生まれました。今回は3頭の出産でした。

14日にはブラックバックにオスの赤ん坊が生まれました。カモシカ園内で生まれたこの子は同居のベイスオリックスやハナジカ達に歓迎されすぎて、隔離したりしたのですが、翌日からは皆と一緒に元気に走り廻っていました。

6月20日、ニホンザルにメスの仔が生まれました。これは5月14日のオスの仔に続き今シーズン2頭目です。



6月26日、ニホンジカにもメスの仔が生まれました。この子も5月27日に続き2頭目です。

§ “野生動物の保護展”開催

6月20日、北園展示館にて「野生動物の保護展」が開かれました。世界野生生物基金の活動を説明したパネルや、世界と日本の野生生物、それにジャイアントパンダのパネルも展示されています。尚、開催は7月15日までです。

休園日のお知らせ

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。9月までの休園日は下記の通りです。

7月21日(月)、8月18日(月)、9月16日(月)。

開園時間は9時半～5時で、4時に切符売止めになります。

なきごえ 昭和55年 7月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

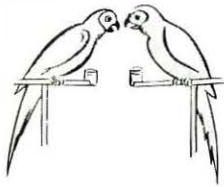
第16巻第7号(通巻179号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

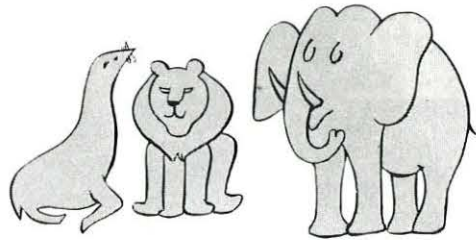
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130c.c.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

板野 健一・前木 妙子・大野 尊信・柳原 安昭・樽本 勲・土井 良彦・高橋 真三・農本 武志
 石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・葭谷 文彦・仲谷 登